



## GnRH アゴニストを投与される患者さまへ

1. GnRH アゴニストとは、脳下垂体に働いて卵巣を刺激するホルモンの分泌を下げ、卵巣の働きを抑えるお薬です。GnRH アゴニストはアミノ酸が9-10個結合したタンパク質ですので、お薬そのものによる副作用はありません。また、タンパク質は胃酸で分解されてしまうので飲み薬としては使用できず、注射剤や点鼻薬として投与いたします。

卵巣の働きが抑えられると卵巣から分泌される女性ホルモン(エストロゲン)が低下し、閉経したのと同じ状態になります。GnRH アゴニストは子宮内膜症や子宮筋腫の治療薬として使用されています。

### 2. GnRH アゴニストの種類

	製剤名	剤型	使用法
1	スプレキュア	点鼻剤	3回/日点鼻
2	ナサニール	点鼻剤	2回/日点鼻
3	スプレキュア MP1.8	注射剤(低用量)	4週間毎皮下注
3	リュープリン 1.88	注射剤(低用量)	4週間毎皮下注
4	ゾラデックス 1.8	注射剤(低用量)	4週間毎皮下注
5	リュープリン 3.75	注射剤(高用量)	4週間毎皮下注

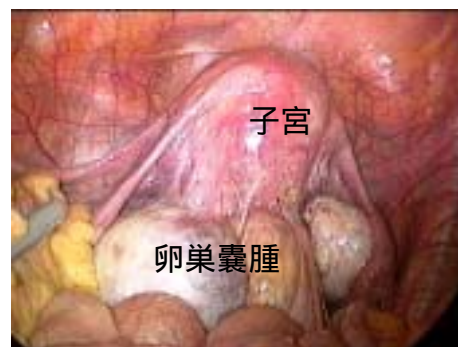
### 3. GnRH アゴニストの効果

#### 1) 子宮内膜症

投与前



投与後6カ月



卵巣チョコレート嚢胞は約半分の大きさに縮小し、子宮後方の炎症が抑えられ手術がしやすい状態になっています。このように GnRH アゴニストは子宮内膜症による骨盤内の炎症を鎮静化する作用があり、手術前の投与により、術後の癒着を減らす作用もあります。

## 2)子宮筋腫

投与前



投与 6 カ月後



臍の上まであった直径約 12cm の子宮筋腫は、GnRH アゴニストの投与により直径 8cm まで縮小し、腹腔鏡下手術が行える状態になりました。

### 4. GnRH アゴニストによる月経の変化

GnRH アゴニストの投与を始めると通常は1-2 カ月後に月経が停止します。ただし月経が完全に停止せずに少量の出血が続いたり、月経が停止するまで3カ月以上かかることもあります。月経の停止と前後して更年期障害のような副作用が感じられます。月経が完全に停止しない場合は妊娠する可能性がありますので、投与中は避妊して下さい。

### 5. 副作用

GnRH アゴニストにより卵巣からのエストロゲンの分泌が低下することにより、更年期障害のような様々な副作用が起こります。

#### 1) 重篤な副作用

骨量低下(6ヶ月間の投与により3-6%の骨量低下が起こります)

骨量低下を予防するには、カルシウムの摂取と運動が有効です。

当院ではGnRH アゴニスト投与中に骨密度を測定し、骨量の低下している患者さまには生活指導や治療を行います。

うつ状態、脱毛

発生するのは非常に稀です。薬剤の投与中止により速やかに改善します。

#### 2) その他の副作用

急に暑くなったり汗がでる症状(ほてり)、いらいら感や不眠など一般の更年期障害でみられる症状はすべて出現する可能性があります。

投与の中止が必要になることは稀ですが、副作用がひどい場合には症状を緩和するために漢方薬などを同時に投与します。